

平成12年 6月26日

気 象 庁

三宅島の火山活動に関する火山噴火予知連絡会（伊豆部会）コメント

三宅島では、26日18時30分頃から地震が多発している。

震源は島内南西部を中心に分布しており、活発化している。

傾斜計は南部の2点（阿古・坪田）で変化が続いている。

震源分布及び傾斜の変化から考えて、島の南西部へマグマが貫入している可能性が高いが、南東部の可能性も否定できない。

島の南部では噴火に伴う溶岩の流出に対し警戒が必要である。

平成12年 6月27日

気 象 庁

三宅島の火山活動に関する火山噴火予知連絡会（伊豆部会）コメント

三宅島の地震活動は、23時27分頃震度3の地震を観測するなど、活動はさらに活発化している。

震源分布及び傾斜計データによればマグマは山頂の西方～南西方向の山腹に貫入していると考えられる。

山頂の西方～南西方向の地域では噴火に対し警戒が必要である。

平成12年 6月27日

気 象 庁

三宅島の火山活動に関する火山噴火予知連絡会（伊豆部会）コメント

三宅島の地震活動は10時02分にM3.9（暫定）の地震が発生するなど引き続き活発である。震源は昨日から本日にかけ西山腹から西方海域に次第に移動した。震源分布及び傾斜計・GPSデータから見るとマグマは昨夜西山腹に貫入し、本日になって西方海域の地下に移動したと考えられる。また、朝のヘリコプター観測等によれば西海岸の西方約1 km沖で海面に変色水が認められた。

既に海底で噴火が開始した可能性があり、今後噴火が活発化して深さが浅いところで噴火した場合には強い爆発となる可能性もある。なお、西山腹での噴火についても否定できない。

今後も警戒が必要である。

平成12年 6月27日

気 象 庁

三宅島の火山活動に関する火山噴火予知連絡会（伊豆部会）コメント

三宅島の地震活動は15時11分にM4.7（暫定）の地震が発生するなど引き続き活発である。震源は午前比に比べ一層西方に移動し、島から離れた海域に集中している。傾斜計の変化は鈍化しつつある。GPS観測では引き続き島の西側での南北の伸び、東側での収縮が続いている。震源分布及びこれら地殻変動データから見ると、マグマは西方に移動しているが、海岸付近では岩脈の拡大を続けていると考えられる。

今朝認められた西方沖の変色水は移動中のマグマから小規模な海底噴火があったことを示唆する。航空観測によれば変色水は14時頃を最後に認められなくなった。

以上のように、マグマの活動域は西方海域に中心を移しつつあるが、海岸付近での噴火の可能性は依然として残されている。島の東部での噴火の可能性は極めて低い。従って、西海岸付近から海域での噴火にしばらくは警戒が必要である。

平成12年 6月28日

気 象 庁

三宅島の火山活動に関する火山噴火予知連絡会（伊豆部会）コメント

三宅島の火山活動にともなう、地震の震源は、西方海域に集中しており、島内での地震は発生していない。

傾斜計及びGPS観測による地殻変動の変化は、基本的には昨日同様、西側での南北の伸び、東側での収縮を示しているが、その変化は鈍化している。

震源分布及びこれら地殻変動データから見ると、マグマ活動の中心は西方海域に移っており、マグマの供給と岩脈の拡大は、鈍化している。

地震活動は、西方海域で消長を繰り返しつつ活発な活動が続いている。

以上のことから、西方海域での火山活動に対しては今しばらく警戒が必要である。また、沿岸西海岸付近では、噴火の可能性は、現時点では完全には否定できない。なお、島の東部及び山頂付近での噴火の可能性はないと考えている。

今後、海域での地震活動はしばらく継続することから、地震活動に対する注意が必要である。